

ダイワ日本企業外債ファンドS(為替ヘッジあり)2016-04 設定来の運用状況について

2016年5月10日

平素は、「ダイワ日本企業外債ファンドS(為替ヘッジあり)2016-04」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの運用状況について、お知らせいたします。

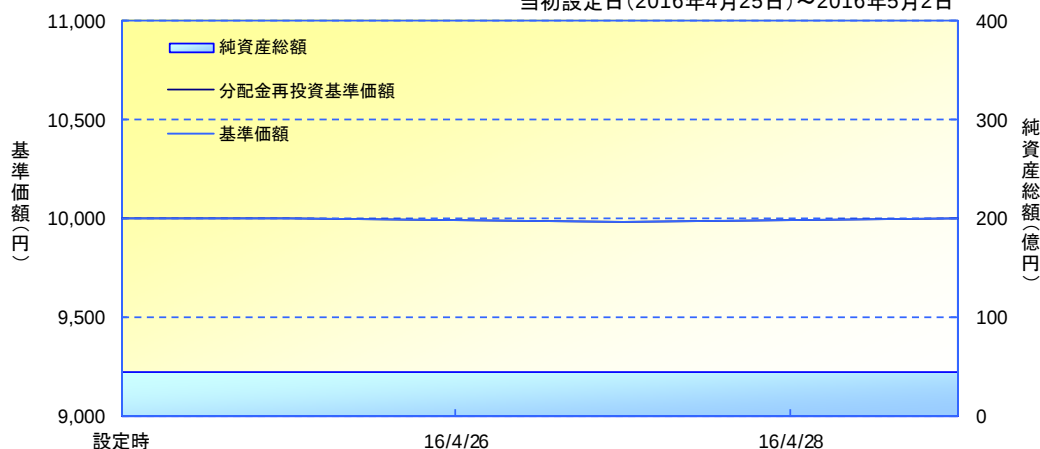
＜基準価額・純資産の推移＞

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年5月2日現在

基準価額	10,000 円
純資産総額	44億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	0.0 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	22	94.7%
コール・ローン、その他※		5.3%
合計	22	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

通貨別構成		合計100.0%
通貨	比率	
日本円	99.0%	
米ドル	1.0%	

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。外貨建て資産の値動きによってはマイナスとなる場合があります。

債券 ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	3.4
最終利回り(%)	2.7
修正デュレーション	4.7

※ポートフォリオ特性値は債券ポートフォリオに対する値です。為替ヘッジに伴うコスト等を考慮した値ではありません。

債券 種別構成		合計94.7%
種別	比率	
事業債	85.5%	
地方債	9.2%	

債券 格付別構成	
格付別	比率
AAA	2.6%
AA	39.1%
A	54.2%
BBB	4.1%
BB以下	---
合計	100.0%

※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、日系発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順で格付けを採用し、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄				合計58.8%
銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率
Mizuho Financial Group Inc	米ドル	2.632	2021/04/12	7.4%
Japan Tobacco Inc	米ドル	2	2021/04/13	7.3%
Nomura Holdings Inc	米ドル	6.7	2020/03/04	6.3%
Mitsubishi Corp	米ドル	2.875	2018/07/18	5.7%
Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corp	米ドル	2.65	2020/10/19	5.6%
Sumitomo Mitsui Banking Corp	米ドル	2.45	2020/01/16	5.6%
Tokyo Metropolitan Government	米ドル	2.125	2019/05/20	5.6%
Central Nippon Expressway Co Ltd	米ドル	2.293	2021/04/23	5.5%
ORIX Corp	米ドル	2.65	2021/04/13	5.5%
Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd	米ドル	7	2072/03/15	4.4%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《ファンドマネージャーのコメント》 ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■市場環境

当ファンド設定後の米国の債券市場は、FOMC(米国連邦公開市場委員会)で利上げペースは引き続き緩やかなものになるとの見方が示されたことが金利低下の材料となったほか、世界的に景気への警戒感が高まったことで安全資産である債券の金利は低下(価格は上昇)しました。

日系企業の外貨建て債券について、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は小動きでしたが、利回りは国債の動きに連れて低下しました。

■運用状況

ファンドの運用にあたりましては、日系企業が発行する外貨建ての債券のうち、相対的に流動性が高く、ヘッジ後の利回りに妙味がある米ドル建ての債券に投資を行い、ポートフォリオを構築しました。業種別構成につきましては、相対的に流動性が高く、利回りに妙味がある金融セクターを中心として組み入れを行いました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■今後の見通し

米国の景気に対する懸念やデイスインフレ(インフレ上昇率の低下)圧力が残る環境下では、利上げペースは緩やかなものととどまるとみており、金利は上昇しにくい環境にあると考えています。また、日本や欧州など世界各国で金融緩和への期待が根強いことから、米国金利は低位にとどまると考えます。

日系企業の外貨建て債券については、企業のファンダメンタルズよりも金融市場の投資家心理などに影響されやすい展開を想定しています。

ファンドの運用にあたりましては、高利回りの金融セクターを中心に投資を行うことにより、高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

以上

ダイワ日本企業外債ファンドS(為替ヘッジあり)2016-04

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資します。
 - 日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。
 - 社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。
 - 投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。必ずしも、上記通貨のすべてが組入れられるわけではありません。
 - 劣後債も投資対象とします。その組入れは純資産総額の30%程度を上限とします。
 - 流動性の確保およびポートフォリオの修正デュレーションの調整のため、上記通貨建ての海外の国債やコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。
 - 外貨建て社債等の格付けは、取得時において投資適格(BBB 格相当以上)とします。
 - ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンドの残存年数+0.3(年)以内とすることをめざします。
2. 「為替ヘッジあり」と「部分為替ヘッジあり」の2つのファンドがあります。
 - 「為替ヘッジあり」は、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - 「部分為替ヘッジあり」は、保有実質外貨建資産について、為替ヘッジを行なうことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を70%に近づけることをめざします。
※為替ヘッジしていない部分については、為替変動の影響を受けます。

※2つのファンドとも、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・ マザーファンドは、「ダイワ日本企業外債マザーファンド S2016-04」です。
 - ・ マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「劣後債固有のリスク(劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク・その他)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用については、次頁をご覧ください。

ダイワ日本企業外債ファンドS(為替ヘッジあり)2016-04

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.54% (税抜 0.5%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会